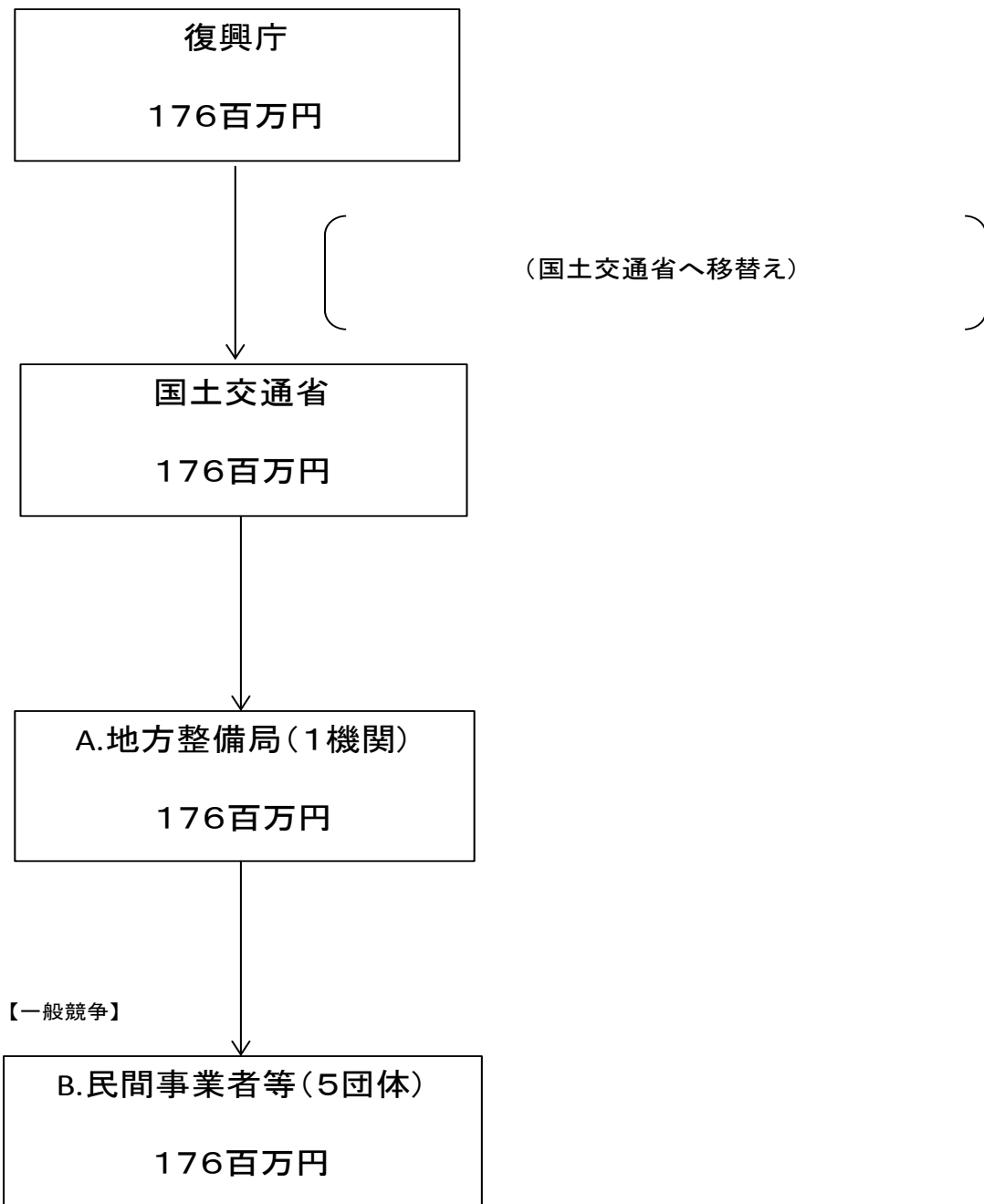


## 平成27年度行政事業レビューシート(復興庁)

事業名	海岸事業			担当部局	復興庁			作成責任者
事業開始年度	平成24年度	事業終了 (予定)年度	平成26年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)			参事官 小瀬 達之
会計区分	東日本大震災復興特別会計			政策・施策名	政策：復興施策の推進 施策：東日本大震災からの復興に係る施策の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	海岸法(第6条)			関係する計画、 通知等	社会資本整備重点計画(平成24年8月31日閣議決定) 海岸保全基本計画(海岸法第2条)			
主要政策・施策				主要経費	公共事業			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	津波・高潮、波浪その他海水又は地盤の変動による被害から海岸を防護するとともに、海岸環境の整備と保全及び公衆の海岸の適正な利用を図り、もって国土保全に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	津波・高潮、波浪、海岸侵食による災害から背後の人命や財産の防護、国土保全に資することを目的に、堤防、突堤、護岸、離岸堤等の整備を行う。 国費率：国 10/10、2/3							
実施方法	直接実施							
予算額・ 執行額 (単位：百万円)	予算 の 状 況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
		当初予算	299	552	-	-		
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	25	123	176	-		
		翌年度へ繰越し	▲123	▲176	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計	201	499	176	0	0		
執行額	202	500	176					
執行率(%)	100%	100%	100%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 40年度	
	合併事業完了時に防波堤背後地223.8haのL1津波からの浸水を回避する	防波堤背後地の浸水回避面積	成果実績	ha	-	-	-	
		(本事業は港湾整備事業との合併事業であり、海岸事業のみの進捗中の成果実績の設定は困難)	目標値	ha	-	-	-	223.8
		達成度	%	-	-	-		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	海岸事業実施箇所	活動実績	箇所	1	1	1		
		当初見込み	箇所	1	1	1	-	
単位当たり コスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	執行額/海岸事業箇所	単位当たりコスト	百万円	202	500	176	-	
		計算式	百万円/箇所	202/1	500/1	176/1	-	
平成27・28年度 予算内訳 (単位：百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	計	0	0					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	災害から人命や財産の防護、国土保全に資することを目的としており国民や社会のニーズを的確に反映している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	工事規模が著しく大きく、高度の技術力を必要とするもので、国土保全上特に重要な海岸を直轄事業で実施している。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	社会資本整備重点計画において指標を立て、重点目標にも合致しており、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先は競争入札により選定しており妥当である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	現地の施工条件に合わせ経済的、かつ、海岸事業の目的に即した設計・施工を行っている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	地方整備局において事業に必要な契約による適切な支出を行っている。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	限られた予算の範囲において、事業目的に沿って真に必要な事業を実施している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	複数の工法を比較検討し、効果的で低コストのものを選択するなどコスト削減に努めている。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	限られた予算の範囲において、効率的な配分の観点から、早期に効果が発揮できる箇所に予算を集中させている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	複数の工法を比較検討し、効果的で低コストのものを選択するなどコスト削減に努めている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	整備された施設は、高潮・侵食等に対して十分な防護効果を発揮している。	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			久慈港湾口防波堤において静穏度確保に資する港湾整備事業と津波対策に資する海岸事業とで一体的に整備を行っている。	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
国土交通省 港湾局		港湾整備事業			
点検・改善結果	点検結果	被災した地域において災害時の被害を最小化するための津波防波堤の整備に予算を集中させて実施している。			
	改善の方向性	本事業は平成26年度をもって終了した。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・同事業における平成24年度以降への繰越し額 平成24年度 25百万円</li> <li>・平成24年度執行額については、一般会計繰越分と特別会計分を切り出すことが困難のため併せて記載。</li> <li>・支出先上位10者リストの中には、平成25年度に入札等を行ったものが含まれる。</li> </ul>					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	118
平成25年度	170	平成26年度	198		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

A.東北地方整備局

E.

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	海岸保全施設整備に必要な経費	176			
計		176	計		0
B.東亜建設工業(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	久慈港湾口地区防波堤(南堤)築造工事	53			
計		53	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東北地方整備局	海岸保全施設整備	176	-	

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東亜建設工業(株)	久慈港湾口地区防波堤(南堤)築造工事	53	5	87.8%
2	五洋建設(株)	久慈港湾口地区防波堤(北堤)築造工事	44	5	89.4%
3	(株)本間組	久慈港湾口地区防波堤(南堤)築造工事	29	5	87.8%
4	(株)宮城建設	久慈港湾口地区防波堤本体工事(その3)	26	1	94.8%
5	みらい建設工業(株)	久慈港湾口地区防波堤(北堤)築造工事	24	5	89.4%